



# 最終選考 結果発表



三次選考を通過した6篇を再度選考し、受賞作品の決定・表彰式を行いました！



# 受賞作品発表

※五十音順

**最優秀賞**

該当なし

**優秀賞**

また、どこかの湖で  
殺されないための努力

阿佐ヶ谷 しゅん

神谷 克麻

**特別賞**

結局ぼくらは花でしかなく、

長尾 彩加

選考についての問い合わせは一切受け付けておりませんので、何卒ご了承ください。



## 選考委員長・大友啓史監督コメント

第一回である今回は、残念ながら最優秀賞にふさわしい  
決め手のある作品には出会えませんでした。  
ですが、優れた個性と書きたいことがしっかり感じられる作品、  
そしてまだまだ伸びしろのある二作品を優秀賞に、  
一作品を特別賞に選ばせていただきました。



## 選考委員長・大友啓史監督コメント

優秀賞の作品「また、どこかの湖で」は、借金を背負った主人公が、殺人事件を起こした学生時代の友人に賭けられた懸賞金を得るために、友人と共に旅に出て彼と再会、旅を続けながら、学生時代の絆を見つめ直していくというロードムービーでした。雄大な自然を背景にしたユーモラスな描写と、地に足の着いた台詞。力のある作品でしたが、全体的にやや予定調和の感が漂い、そこをどうやってブレークスルーするか、もう少し推敲を重ねた稿を読んでみたいと思いました。



## 選考委員長・大友啓史監督コメント

もう一つの優秀賞は、「殺されないための努力」。自分でも気づかない些細な偶然が「殺される理由」になってしまうという、そんな確信と不安を抱く主人公が、「殺されないため」に、他人との適度な距離感を探りながら日々を過ごします。その偏執的で妄想のような不条理に満ちた日常を淡々とコミカルに描いた、独自のスタイルを持つ脚本でした。一方で単調で意外性に欠ける側面もあり、この主人公の人物造形を深め、思いがけない展開を用意したらどんな世界にたどり着くのか、その可能性を探ってほしいと思いました。



## 選考委員長・大友啓史監督コメント

特別賞の「結局ぼくらは花でしかなく、」は、お人よしが仇になって生き辛さを感じている主人公の女性が、ふとした出会いからある男と出会い、実は殺人犯であった彼に騙されるかのように導かれながら、信じるものを見つけ出すまでを描いたコメディ作品です。

思い切りの良い飛躍や現代的で活きの良い台詞に、作家の筆力を感じさせます。細かいディテールやリサーチをもう少し反映させ、細やかな推敲を重ねると、より説得力のある脚本になると感じました。



## 選考委員長・大友啓史監督コメント

どの作品も各々独自の味わいと個性、  
可能性を感じさせる一方で、同時代に真正面から斬りこむような  
強いテーマ性や視点の鋭敏さ、人間を掘り下げていく志向、  
物語を際立てるディテールや重層性、  
そういうことを感じられる作品も読んでみたいと思いました。



優秀賞  
神谷克麻さん



優秀賞  
阿佐ヶ谷しゅんさん



特別賞  
長尾彩加さん

受賞された皆様、おめでとうございます！